

ミズノ株式会社

第99期(2012年3月期)

決算説明資料



明日は、きっと、できる。

2012.05.17

・この説明資料には、2012年5月17日現在での将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれています。
・世界経済・競合状況・為替の変動等に関わるリスクや不確定要因により実際の業績が記載の予測と大幅に異なる可能性があります。

- 11年度業績結果について
- カテゴリー別概況
- 所在地別の概況
- 12-14年度の中期計画
- 最後に

連結損益計算書(累計)

- ランニングシューズの成長などにより増収増益。各地域で増収(海外は現地通貨ベース)。

(億円)	10年度累計実績	11年度累計実績	前期比(%)
売上高	1,500	1,550	+3.3%
売上総利益	630	648	+3.0%
売上総利益率	42.0%	41.8%	-0.2P
販売管理費	584	593	+1.7%
販売管理費率	38.9%	38.3%	-0.6P
給与手当・賞与	200	208	+3.8%
広告宣伝費	106	113	+7.0%
営業利益	46	55	+19.6%
営業利益率	3.1%	3.5%	+0.4P
経常利益	45	57	+26.6%
経常利益率	3.0%	3.7%	+0.7P
純利益	28	31	+10.7%
円/1USD	87.7	79.8	
円/1GBP	133.1	127.2	
円/1EUR	113.5	110.2	

連結貸借対照表

- 増収により売掛債権増。有利子負債を引き続き削減。

(億円)	10年度末	11年度末	前期増減
資産合計	1,285	1,305	+20
現金及び預金	135	120	△15
受取手形及び売掛金	328	356	+28
在庫	249	270	+21
有形・無形固定資産	377	377	±0
投資有価証券	71	74	+3
繰延税金資産(流動・固定)	50	40	△11
負債合計	533	530	△3
短期有利子負債	116	69	△47
長期有利子負債	58	96	+38
その他負債	359	364	+6
純資産合計	752	775	+23

業績結果の概要(累計)

- ランニングシューズの販売増などにより増収増益。日本も増収に転じる。
 - 売上総利益率は0.2P低下するも、増収効果で営業増益。

対前年

売上 **1,550億円** **50億円増(3.3%増)**

換算為替の影響 **△27億円(1.8%減)**

為替影響以外の増減 **+77億円(5.1%増)**

- ▶ 日本は08年3月期以来の増収。為替ニュートラルでは米州・アジアで2桁成長。
- ▶ 高付加価値のランニングシューズが売上を牽引。

営業利益 **55億円** **9億円増(19.6%増)**

- ▶ 売上総利益率の低下、販管費増を売上増でカバーし、営業増益を確保。

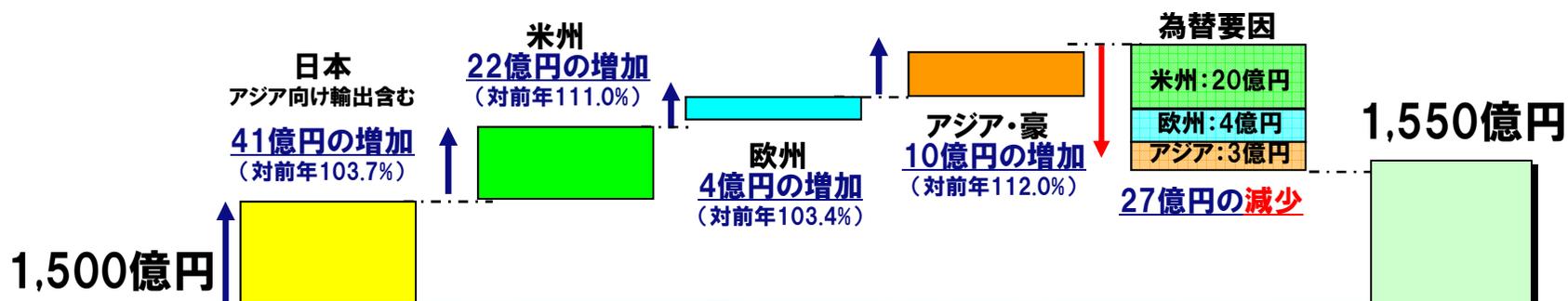
経常利益 **57億円** **12億円増(26.6%増)**

- ▶ 外貨建資産の円換算に係る為替差損の減少、支払利息減少など営業外損益改善。
- ▶ (当期末 GBP1=¥131.25, EUR1=¥109.73 前期末 GBP1=¥133.88, EUR1=¥117.52)

純利益 **31億円** **3億円増(10.7%増)**

売上の増減分析 - 所在地別

■ 換算為替の影響を除いた所在地別の売上増減と換算為替影響



- ▶ 日本:スポーツシューズ、ウェアは伸長。ゴルフ品は減少するも下期からは下げ止まり。
- ▶ 米州:ランニングシューズ2桁成長。ゴルフ品、野球品も堅調に推移。
- ▶ 欧州:各拠点でランニングシューズ、インドアシューズが好調。ゴルフ品は減少。
- ▶ アジア・豪:ランニングシューズが台湾・豪州で好調で2桁成長。

連結所在地別売上高

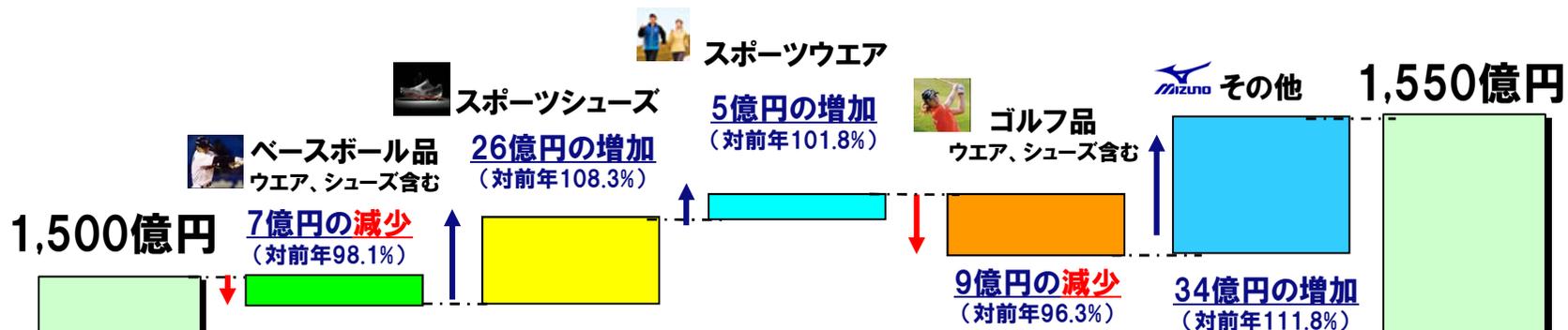


10年度

11年度

売上の増減分析 - 商品別

■ 為替の影響を含む、連結商品別の売上増減



- ▶ ベースボール品: 日本微減。米州は現地通貨ベースでは増加。
- ▶ スポーツシューズ: 全てのエリアで好調。米州・アジアでは2桁成長。
- ▶ スポーツウェア: 日本・アジアで伸ばす。
- ▶ ゴルフ品: 米州を除く地域で減少。日本は震災影響があったが下期からは底打ち感あり。

連結商品別売上高

	11年度	10年度
ベースボール品	360億円	367億円
スポーツシューズ	364億円	338億円
スポーツウェア	302億円	297億円
ゴルフ品	216億円	225億円
その他	356億円	322億円
連結合計	1,550億円	1,500億円

10年度

11年度

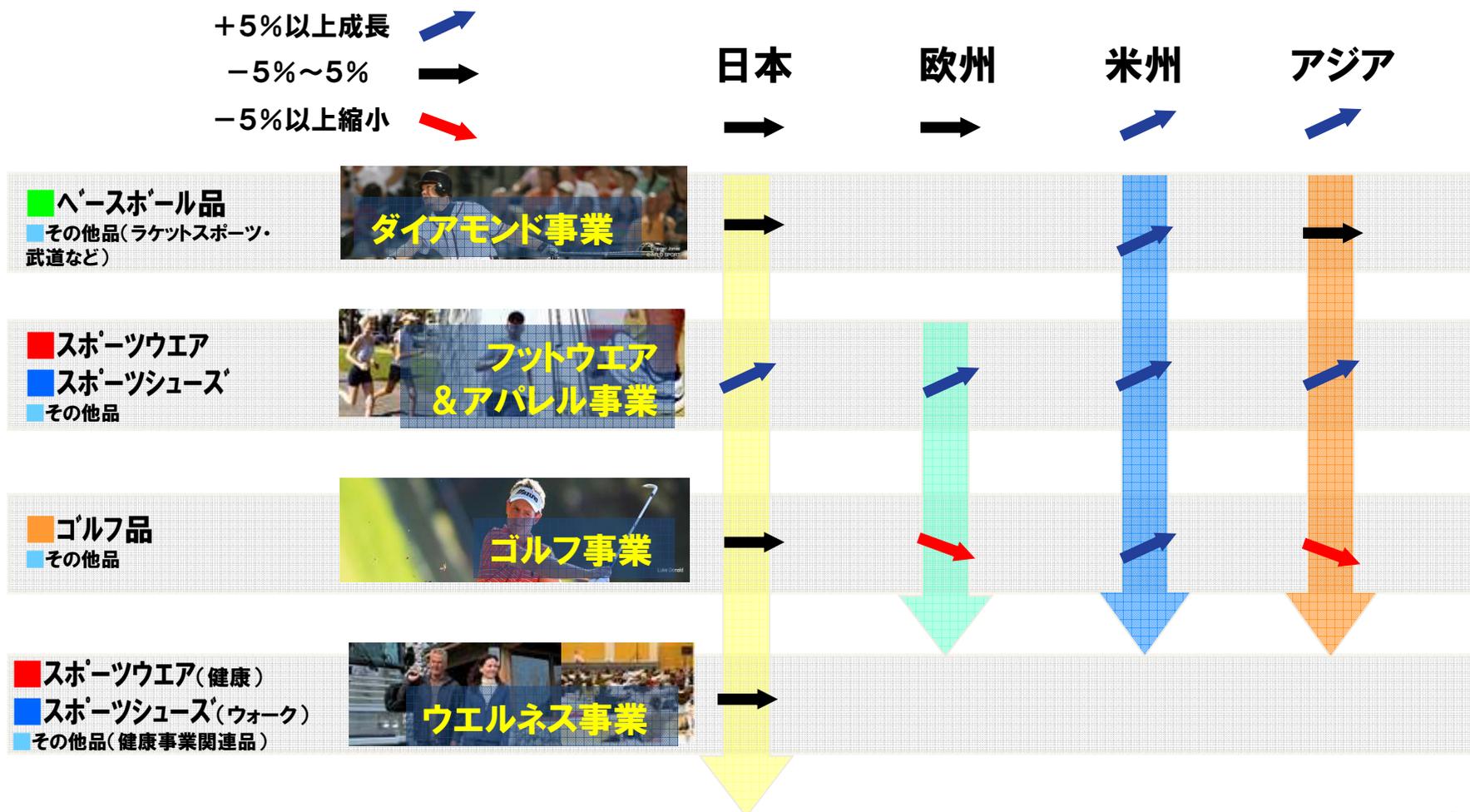
主な連結経営指標

- 収益性の向上により、ROA・ROEともに改善。

	10年度	11年度	前期増減
総資本事業利益率（ROA）	3.8%	4.5%	+0.7P
自己資本利益率（ROE）	3.8%	4.1%	+0.3P
自己資本比率	58.4%	59.3%	+0.9P
一株当り利益（EPS）	¥22.78	¥25.23	+¥2.45
一株当り純資産（BPS）	¥602.19	¥620.86	+¥18.67
株価純資産倍率（PBR）（倍）	0.59	0.74	+0.15
基準株価（各年度3月末日）	¥354	¥459	—
配当性向	43.9%	39.6%	—

各リージョン、事業の概況

- グローバル ビジネス ユニット (グローバルでの戦略意思決定の単位)
 - 11年度売上高の概要(対前年成長率) 為替の影響を除いた現地通貨ベース



11年度 実績（累計） 日本



実績概要と推移

金額：億円

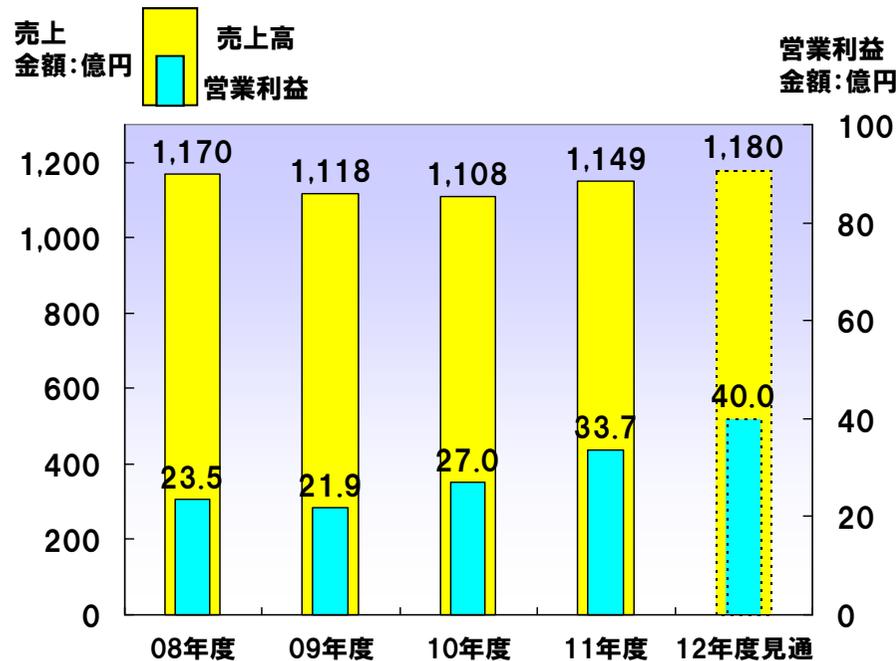
▶ 11年度累計 実績(事業別)

(アジア輸出含む)

	日本計	フットウェア & アパレル	ダイヤモンド	ゴルフ	ウエルネス	その他
売上高	1,149	330	388	125	188	118
前期比	104%	107%	101%	95%	104%	-

11年度 状況

- フットウェア&アパレル事業：ランニングシューズをはじめ、サッカースパイク等各種競技用シューズの機能が支持され販売を伸ばした。
- ダイヤモンド事業：成熟市場の中、硬式クラブやパーソナル向けアパレル品が売上を伸ばした。
- ゴルフ事業：震災影響で前半大きく落ち込むも、カスタムフィッティングの好評により後半回復して前年に近い水準まで持ち直した。



今後の施策・展望

- フットウェア&アパレル事業：ロンドン五輪の機会を活用して更にブランドイメージ向上を図るとともに、ランニング等の健康市場への取り組みを拡大していく。
- ダイヤモンド事業：トッププロを採用したプロモーション活動、とジュニア層へのアプローチを推進していく。
- ゴルフ事業：カスタムフィッティングの推進

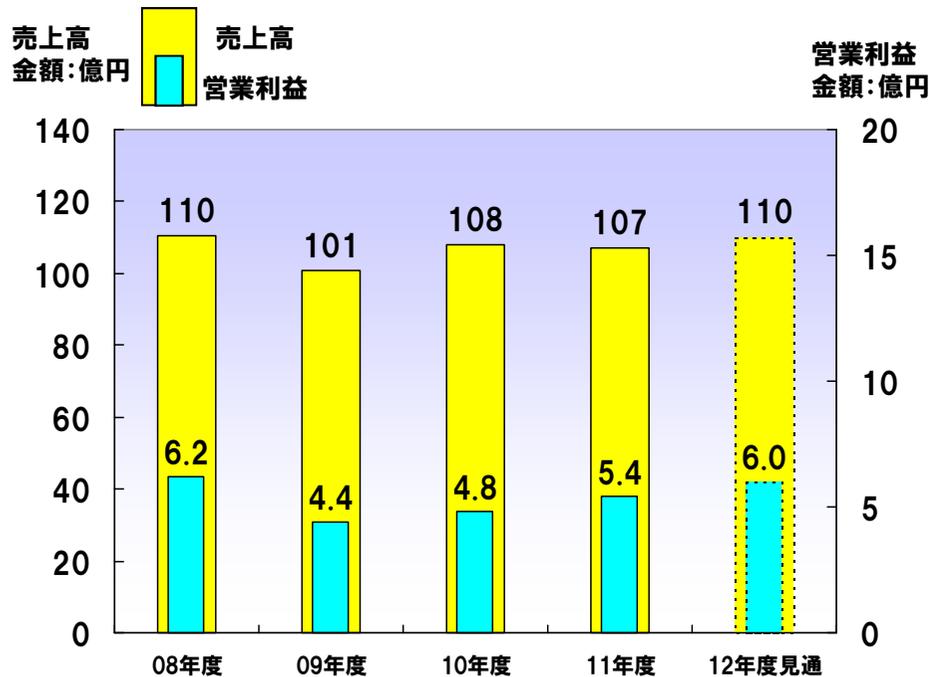
注) 事業別実績は社内管理資料に基づく

11年度実績（累計） 欧州

実績概要と推移

▶ 11年度累計 実績(事業別) 金額:億円

	欧州計	フットウェア & アパレル	ゴルフ
売上高	107	76	31
前期比	99%	104%	90%
為替影響 除く	103%	108%	94%



11年度 状況

- フットウェア & アパレル事業: ミズノウエーブの機能が、ランニング市場のみならず幅広い市場カテゴリーにも浸透し、ランニングシューズおよびインドアシューズの販売が好調に推移。
- ゴルフ事業: 経済不安の影響で市場が縮小する中、契約プロの活躍とプロモーション効果に加え、カスタムフィッティングの好評により、売上は前年を下回ったものの、市場でのシェアは向上。

今後の施策・展望

- フットウェア & アパレル事業: ロンドン五輪の機会を最大限に活用し、より一層のブランド力向上を目指す。
- ゴルフ事業: 好評を得ているカスタムフィッティングを継続推進し、アイアンの更なるシェアアップを進めていく。

注) 事業別実績は社内管理資料に基づく

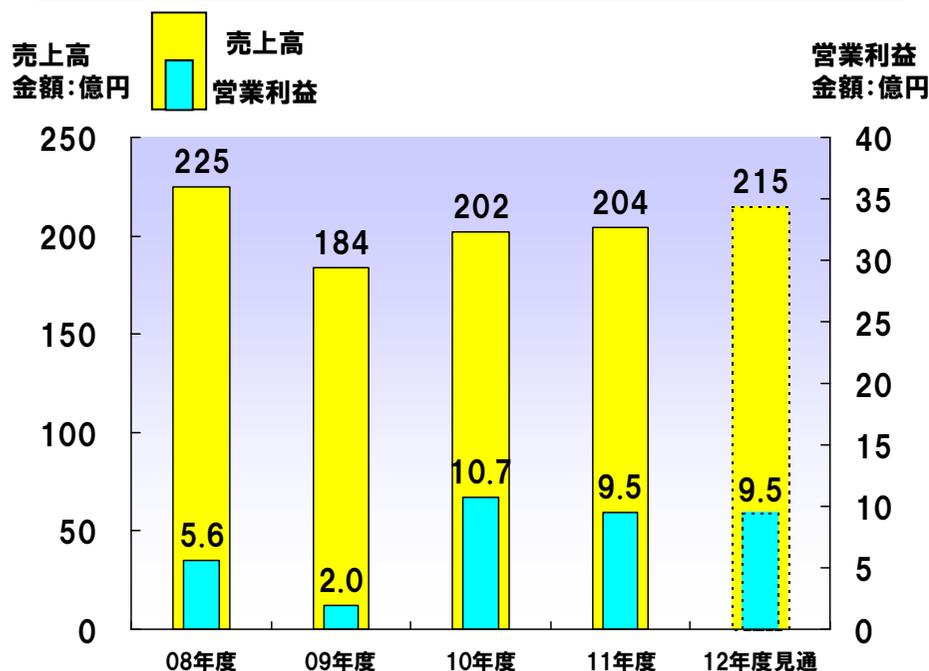
11年度実績（累計） 米州

実績概要と推移

▶ 11年度累計 実績(事業別)

金額:億円

	米州計	フットウェア & アパレル	ダイヤモンド	ゴルフ
売上高	204	98	65	41
前期比	101%	105%	96%	98%
為替影響 除く	111%	115%	105%	107%



11年度 状況

- フットウェア&アパレル事業: 幅広い層から支持されているランニングシューズが引き続き好調に加え、ランニングアパレルも売上を伸ばした。
- ダイヤモンド事業: 大型店を中心にクラブの販売が堅調に推移。
- ゴルフ事業: カスタムフィッティングの好評に加え、契約プロの活躍に伴うプロモーション効果により売上を伸ばした。

今後の施策・展望

- フットウェア&アパレル事業: ランニングシューズの更なるシェアアップと、バレーボールなどのチームビジネス拡大に向け、大型店・専門店への取組を進める。
- ダイヤモンド事業: 機能を訴求できる商品展開を進め、更なるブランドイメージ向上を図る。
- ゴルフ事業: カスタムフィッティングを推進しアイアン・ウェッジのシェアアップを図る。

注) 事業別実績は社内管理資料に基づく

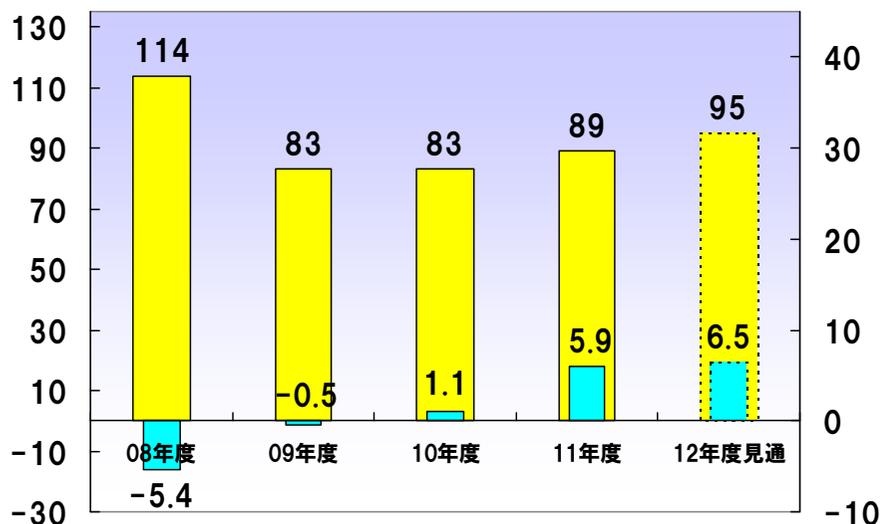
11年度実績（累計） アジア・豪州（日本からの輸出を除く）

実績概要と推移

▶ 11年度累計 実績(事業別)

金額:億円

	アジア計	フットウェア & アパレル	ダイヤモンド	ゴルフ
売上高	89	71	3	15
前期比	108%	111%	92%	89%
為替影響 除く	112%	115%	95%	92%



11年度 状況

- 中国： 売上の下げ止まりを果たすとともに、店舗再編・在庫圧縮などの効果で収支改善。
- 台湾： スポーツシューズを柱として増収増益を継続。
- 豪州： ランニングシューズの販売が牽引。

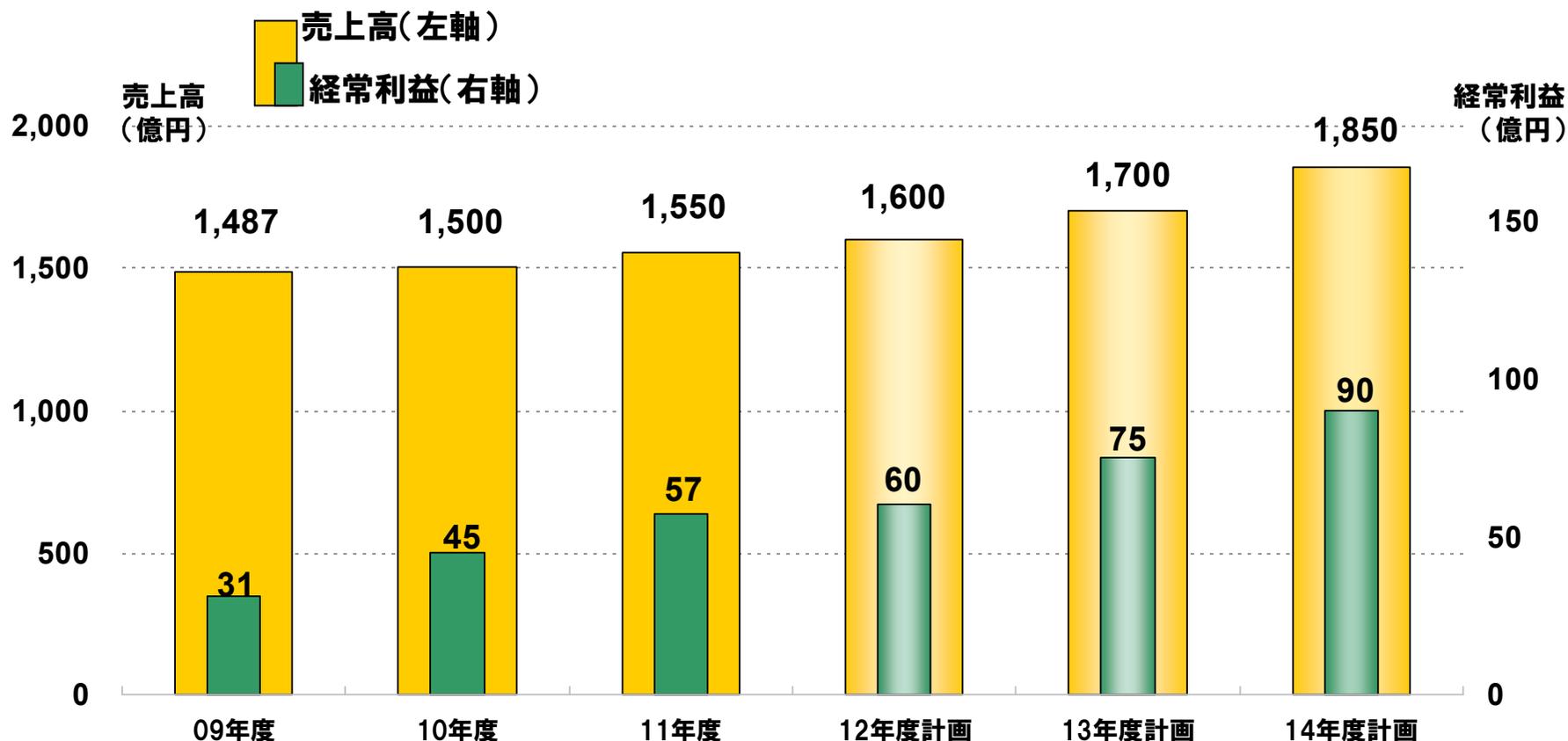
今後の施策・展望

- 中国： 売上回復に向けて販路再編と店頭マーケティングの強化を進める。ランニングビジネスの拡大とゴルフのシェア回復へ向けたチャネル政策と商品展開。
- 台湾： 高いブランドイメージを生かしたマーケティングの継続実施。
- 豪州： 専門店を中心にランニングシューズのシェアアップを図る。ゴルフはカスタムフィッティングに注力。

注) 事業別実績は社内管理資料に基づく

中期計画（連結）

■ 真のグローバル成長に向けて、成長スピードを加速させる。

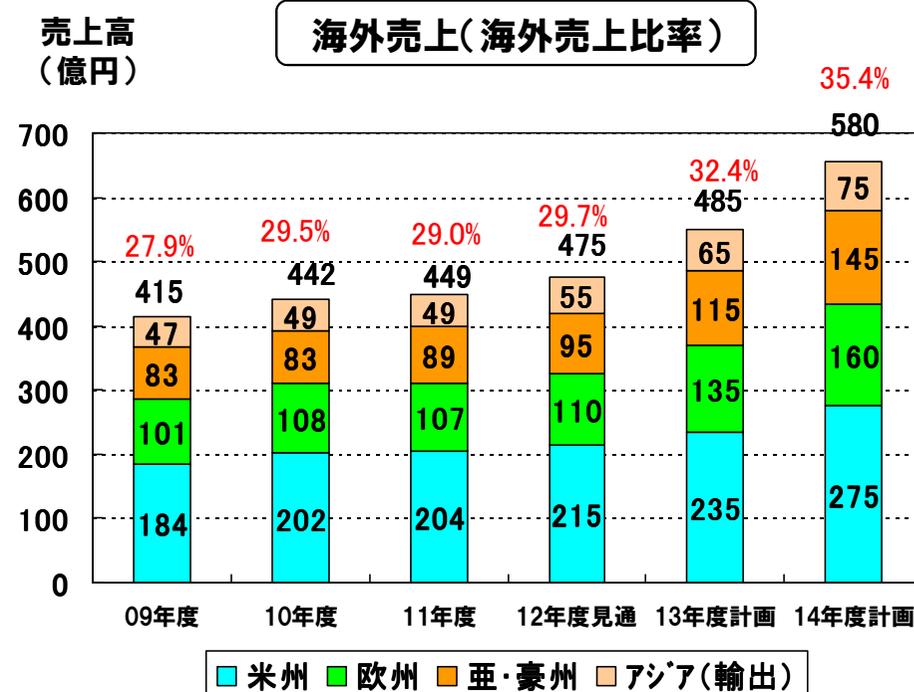
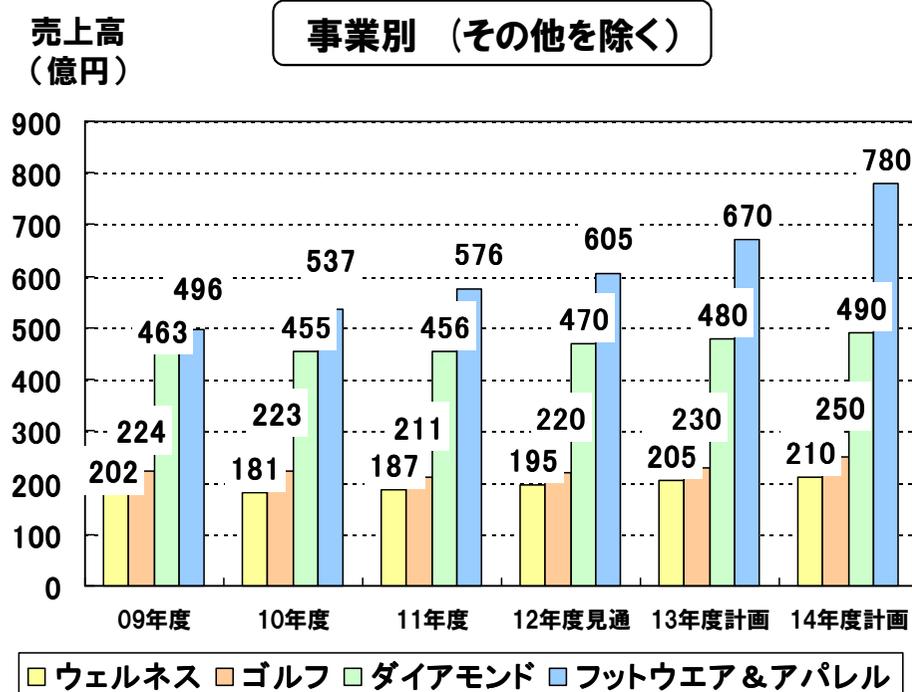


円/USD	93.5	87.7	79.8	80
円/GBP	147.3	133.1	127.2	130
円/EUR	130.6	113.5	110.2	105

＜決算為替レート推移＞
12年度は想定レート
(13-14年度も同レートを使用)

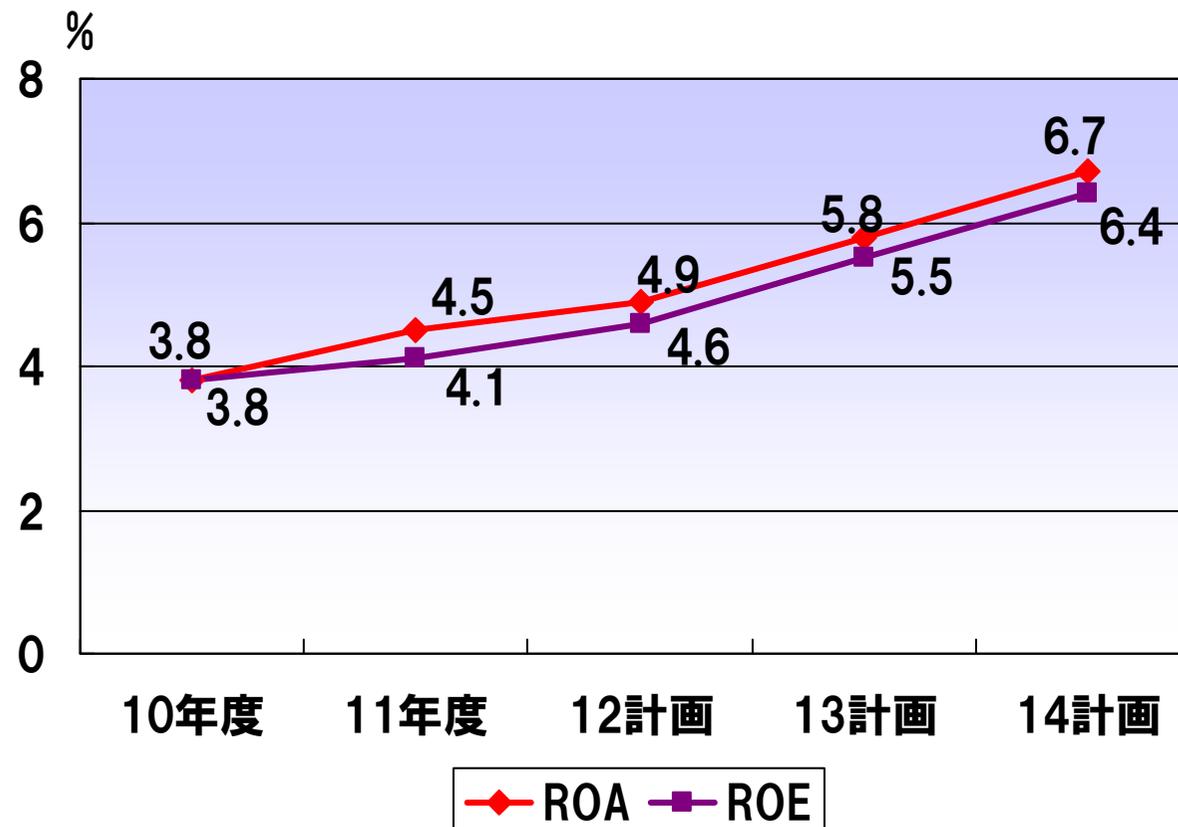
中期計画（GBU別、海外）

■ フットウェア & アパレル事業を中心に海外での成長を促進する。



中期計画（ROA, ROE）

- ROA目標7%：金融危機後の市場環境悪化などで一時目標との乖離が広がったが、メーカー機能を強化しグローバルでの成長を加速させ、利益率改善と在庫を中心とした資産圧縮により早期での達成を目指す。



■ 事業スローガン 「Be Professional!」

2011年度は、東日本大震災や欧州債務危機の再燃など、きびしい経営環境の中、健康市場や節電への対応とグローバル展開を進め、増収増益を果たしました。2012年度はスポーツ最大の祭典であるオリンピックが開催されます。オリンピックの機会を通じて、スポーツの素晴らしさを世界中の人々に伝え、世の中を明るく豊かにすることを目指し、グループ全社員がプロフェッショナルとしての役割を果たし、グローバル市場での成長を目指して取り組んで参ります。

2012年度 年度方針

経営維新

技術維新

人財維新